あなたの輝ける場所、
きっと見つかる

JCHO

Japan Community Health care Organization
独立行政法人地域医療機能推進機構

看護職員 RECRUIT GUIDE

安心の地域医療を支える

JCHO

理念

我ら全国ネットの JCHO は地域の住民、行政、関係機関と連携し地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します

4つのミッション

地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支えます。

地域医療の課題の解決・情報発信を通じた全国的な地域医療・介護の向上を図ります。

地域医療・地域包括ケアの要となる人材を育成し、地域住民への情報発信を強化します。

独立行政法人として、社会的な説明責任を果たしつつ、透明性が高く、財政的に自立した運営を行います。

ご挨拶

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO ジェイコー）は、平成 26 年 4 月に発足し、全国 57 の病院、26 の訪問看護ステーション、26 の介護老人保健施設等を有する全国的な組織であり、約 1 万 3 千人の看護師が勤務しております。このネットワークを活かし、質の高い医療を提供しつつ、地域の住民、行政、医療機関、教育機関等と連携し、安心して暮らせる地域づくりに貢献することを理念としております。

日本は世界に類を見ないスピードで高齢化が進み、少子高齢多死社会を迎えます。医療は「病気を治す医療」から「暮らしを支える医療」に大きくシフトしようとしており、看護師は、これからの日本の医療を担っていくチーム医療の中心的な職種として、社会から大きな期待が寄せられています。

JCHO は、こういった社会に期待される看護師の人材育成に力を入れています。ぜひ、JCHO の病院や施設に就職し、地域の多様なニーズに応えられる看護師として、いきいきと活躍することを期待いたします。

理事長　尾身　茂

JCHO とは

JCHO（独立行政法人地域医療機能推進機構）は、病院、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等の運営を行い、5 事業（救急医療・災害医療・へき地医療・周産期医療・小児医療）、5 疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）、リハビリテーション、その他地域において必要とされる医療及び介護を提供する機能の確保を図り、公衆衛生の向上や住民福祉の増進等に寄与することを目的とし、平成 26 年 4 月 1 日に設置されました。

看護理念

地域住民の幸福な生活を支える看護

JCHO が目指す看護職像

地域住民の生活支援ができる知識・技能・態度を持った看護職

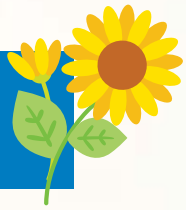
地域のあらゆる現場において、診察・治療等に関連する業務から患者の療養生活の支援に至るまで「チーム医療・介護のキーパーソン」として幅広い役割を担える。

「健康状態や個人の背景を理解して支えてくれる人」（的確な保健指導による選択肢の提示及び病院の外（地域）につなげてくれる人）という地域住民の看護職に対するニーズに応じて、多様な生活背景と複数の合併症を抱える高齢者を中心とした人々の支援者となれる。

地域住民、医療・介護チームに求められる看護職

JCHO のミッションである医療・地域包括ケアの視点をもって、病院、地域、グループ組織の一員として成果を出すことができる。

ＪＣＨＯへの就職を検討してくださっている皆さんに、ＪＣＨＯ看護の特色と魅力を紹介します



ＪＣＨＯは、急性期から回復期リハビリ、地域まで、これからの社会に求められる看護実践を積極的に取り組んでいます。

平成２６年度の発足以来、地域医療、地域包括ケアの要として超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域住民の生活を支えるという使命の実現のために、革新的な取り組みを積極的に行っています。急性期の一般病床に加え、回復期・慢性期病床、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、健康管理センターを有する機能を活かして、地域住民の生活を支える専門職であり、チーム医療の要である看護職が活躍しています。

ＪＣＨＯは、学び続ける意欲のある看護師を応援します。

これからの社会に求められる看護の実現のためには、人材育成が重要と考えています。ＪＣＨＯでは、経験や役割に応じた様々な研修を企画しており、多くの看護職員が参加しています。また、全国に展開するＪＣＨＯのスケールメリットを活かしたスキルアップ、教育機関や行政等との連携によるキャリアアップのサポートも行っています。専門職として学び続ける意欲のある人を応援する体制が整っています。

医療・看護・介護・地域包括ケア担当理事　中野 惠

人材育成とキャリアアップ支援

看護職には、チーム医療・介護のキーパーソンとしての役割が期待されており、JCHO のミッションを実現できる人材を育成するため、早い段階から幅広い業務に関われる基礎的研修を各病院において実施するとともに、一定の実務経験を経た後に専門的知識・技術を身につけられる研修を本部等において実施します。新人教育プログラムの充実はもちろん、認定看護師資格取得のための支援や職位別研修などを開催し、人材育成にも力を入れています。また、クリニカルラダーは JCHO の使命である地域住民を支える看護が実践できる人材育成を目標として一人ひとりの成長に合わせたステップアップを支援しています。

教育理念　看護職者としての自律と成長を目指して学び続ける

教育目的

◆地域医療で重視される疾病や医療・介護・福祉を繋げる視点を育てる継続的な学習、病院内だけでなく地域においても活用できる看護実践方法の習得を支援することにより、地域住民の多様なニーズに応える安全・安心な看護を提供できる人材を育成する。

◆専門職・医療チームの一員としての責任・使命感を持ち、興味を持つ分野・領域において、主体的に学習や組織改革に参画できる人材を育成する。

教育目標

◆日常の看護（業務・実践）に役立つ学習活動に参加することができる。

◆問題解決能力・判断力を身につけ、個人や集団のニーズを理解して、患者とその家族・地域住民及びチームの問題解決のために具体的行動がとれる。

◆チームの一員としての役割を認識して成果を出し、患者とその家族及び組織から信頼・承認を得ることができる。

看護職の人材育成について

JCHO の理念を実践する能力の獲得と個々の看護職のキャリア発達

ワーク・ライフ・バランス

●働き続けられる支援

・多様な働き方・子育て支援・介護休暇・転勤が可能など
・自己啓発休業・研究休職の活用も可能

スケールメリット

●多様な領域から選択できる職場環境

57 病院（急性期から回復期、地域包括ケア）、老健施設、訪問看護、健康管理センターなど様々な看護経験ができるフィールド

次世代育成

●共に学び、共に育つ看護師の養成

・看護専門学校 7 校運営
・実習指導者講習会の開催

多様な教育体制

●地域医療に貢献する臨床実践能力を育成

・特定行為研修　・在宅療養支援研修
・認知症看護研修　・糖尿病看護研修

●病院機能に応じた教育

・院内研修、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）など

キャリア開発

●より高度な看護実践者の育成

・専門看護師、認定看護師の活用

●質の高い看護実践組織を創造できる看護管理者の育成

・認定看護管理者教育課程ファーストレベルからサードレベルまで
・職位別看護管理者研修
・副看護師長登用試験による質の保証

●段階的に能力を高める継続教育

・JCHO クリニカルラダーの活用
・新人看護職員研修
・中堅看護師研修

JCHO の理念に基づき、地域医療・地域包括ケアの要である看護職員の人材育成と活用を重点的に強化しています

クリニカルラダー　あなたの歩むペースを大切にした教育を行っています。

特徴

看護師、助産師、保健師教育で学んできた基礎・能力を伸ばし現場で活用できるように、知識・実践・技能の要素を 3 職種それぞれで明確にしている。

活用の目的

◆看護職自身の成長のステップの目安として
◆成長をサポートする組織の責任の明確化および教育の検討材料として
◆他職種が客観的に見てわかる看護職のレベルの PR として
◆組織が成長を承認するためのツールとして

Level 1

・指導の下で安全な看護ができる。
・組織の一員であることを自覚し、施設を利用する全ての人、協働する全ての仲間に丁寧な対応ができる。

Level 2

・地域における自施設の機能を理解できる。
・地域医療および地域包括ケアのチームの一員として看護職に求められる役割を考え行動につなげることができる。

Level 3

・地域医療および地域包括ケアのチームの一員として、患者および家族、地域の人々の生活上のニーズに応えるために積極的に問題解決に参画できる。

Level 4

・患者および家族の地域における生活上のニーズを把握し、医療者のニーズと統合したケアを提供するためにリーダーシップが発揮できる。

Level 5

・地域関連施設と連携を図り、ケアを継続できる。
・患者および家族の地域における生活上のニーズを把握し、医療者のニーズと統合したケアを提供する実践モデルとして行動できる。

臨床実践者としての更なる向上、看護管理者、教育者への道も！

専門的スキル

チーム医療や人間関係を構築・維持するスキル

知識や情報を体系化するスキル

不安を自信に変える「新人教育」

入職１年目は誰でも不安なもの。JCHO では、手厚い指導体制の卒後臨床研修で新人をフォロー。
しっかりと基礎を身に付け、安心して実践の場に臨むことができます。

船橋中央病院

当院看護部は安心で安全な看護を提供するためにＰＮＳ（パートナーシップ・ナーシング・システム）を導入しています。ＰＮＳでは、看護師２人で患者を受け持ち、ケアを実践し情報と責任、成果を共有します。また、臨床実践能力を修得するために、研修責任者と新人育成担当者がバックアップし、ローテーション研修を計５週間行います。

船橋中央病院　内科病棟
松本 惠梨（右）

入職当初は何事にも責任が伴うため毎日不安と緊張の日々でしたが、先輩方に一つ一つ丁寧に根拠を持って教えて頂き、少しずつ自信を持って看護師として患者様と向き合えるようになりました。ローテーション研修では他部署に行った際も、先輩が様子を見に来てくれたことがとてもうれしかったです。知識や技術だけでなく精神面もフォローしていただきました。

1年目の新人教育スケジュール（例）

頼れるプリセプターや先輩があなたをサポートします。

START!

4 Apr　5 May　6 Jun　7 Jul　8 Aug　9 Sep

ローテーション計画

配属部署 →

少なくとも2ヶ月は配属部署で研修を受けます

まずは自分の部署になれること！

ICU（集中治療室）で2週間。手術室で1週間

ICU　重症患者をケアする高度な治療現場を経験できます

手術室　迅速な対応が不可欠な手術室で、先輩ナースの動きを学びましょう

教育プログラム

- ◆入職時オリエンテーション
- ◆看護記録の書き方（電子カルテの使い方）
- ◆採血・静脈注射
- ◆輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い
- ◆医療安全と感染管理
- ◆看護倫理
- ◆BLS（一次救命処置）
- ◆メンタルヘルスケア研修
- ◆尿留置カテーテルの管理
- ◆周術期の看護
- ◆心電図
- ◆基本的なスキンケアと褥瘡予防
- ◆経管栄養・胃ろうの管理

薬の勉強会

GOAL!

10 Oct　11 Nov　12 Dec　1 Jan　2 Feb　3 Mar

ローテーション計画

配属部署 → **他病棟** → 配属部署 →

他の病棟で３週間

技術の修得だけでなく、院内の人脈づくりにも役立ちます

教育プログラム

- ◆危険予知トレーニング
- ◆輸血の基礎知識
- ◆中心静脈カテーテル・CV ポートの管理
- ◆人工呼吸器の取り扱いと呼吸ケア
- ◆終末期ケアと逝去時の看護
- ◆卒後研修振り返り発表会
- ◆看護を語る会

薬の勉強会

※一例です。各病院によって内容は異なります。

2年目以降も安心の「継続教育」

職員一人ひとりが専門職として成長できるよう、研修プログラムを用意しています。
看護師としても、社会人としても自律した人材の育成を目指します。

中京病院

JCHOのミッションとクリニカルラダーを基に、個々のキャリアを大切に育むプログラムをラダー別に開催しています。また、個人・組織・社会のニーズも組み込んだ研修内容としています。さらに、当院の専門看護師・認定看護師の強みを活かし、専門性に特化したイブニングセミナー等も開催し相互作用でキャリアアップに繋がっています。

中京病院　救命救急センター
田富 麻耶

２年目は、アセスメント能力の向上を目標に、担当指導者の支援を受けながら、看護実践から学びました。３年目以降は、救急外来の役割が担えるよう、クリニカルラダーに沿って、救急看護認定看護師を中心としたシミュレーションや実践トレーニングを受け、キャリアアップに努めています。現在５年目となり、実地指導者として新人教育に携わっています。

以下の研修内容を看護教育委員会が企画し、院内の他部門や他の委員会と協力し開催しています。こうした研修は、所属部署の垣根を越えた交流の場ともなっています。

院内研修プログラム（例）

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
集合研修	・新人研修 ・ローテーション研修	・倫理研修 ・多重課題研修 ・救急研修 ・リフレクション研修 ・プリセプター研修	・プリセプター フォローアップ研修 ・説明力向上研修	・リーダーシップ研修	・臨地実習指導者研修
部署別研修	・基礎技術の習得	・日常ケアにあたる倫理についての教育 ・リフレクションの支援 ・メンバーシップ教育	・プリセプターシップ教育	・リーダーシップ教育	・臨地実習指導者教育
	各部署の年間計画に準ずる（倫理・感染・医療安全・防災・接遇・救急・看護技術・専門分野）				
	看護研究				
専門・認定看護師主催研修	社会のニードに応じた研修会の企画 皮膚・排泄ケア　緩和ケア　がん看護　がん性疼痛　がん化学療法　感染管理　集中ケア　摂食・嚥下障害看護 救急看護　糖尿病看護　認知症看護　脳卒中リハビリテーション看護				
共通研修	医療安全　感染対策　防災訓練　重症度、医療・看護必要度				

※一例です。各病院によって内容は異なります。

あなたのキャリアデザインに沿った研修体制があるJCHO

JCHOの使命を実現するために様々な研修を企画しています。

創造力と組織をマネジメントする行動力を養う看護管理者の育成、次世代の看護師を養成するために必要な指導力を身につけるための実習指導者講習会、地域医療を生活の視点で支えるための高度かつ専門的な臨床実践能力を養う研修など、多くの研修を実施しています。
全国57病院から、研修生が集い、知識や技術の修得と共に仲間とのネットワークをつくる機会となっています。

エキスパートを育てるJCHOの研修

看護管理者の育成

- 新任看護部長研修（2日間）
- 新任副看護部長研修（2日間）
- 看護師長研修（3日間）
- 新任副看護師長研修（2日間）
- 認定看護管理者教育課程（日本看護協会認定）
  ファーストレベル（150時間）
  セカンドレベル（180時間）
  サードレベル（180時間）

グループワーク

地域医療に貢献できる臨床実践能力の育成

- 糖尿病看護研修（5日間）
- 認知症看護研修（5日間）
- 認知症対応力向上研修（2日間）
- 認知症看護ステップアップ研修（1日間）
- 在宅療養支援研修（2日間）

講義

看護師を養成する指導者の育成

- 実習指導者講習会（厚生労働省認定）（240時間）

継続教育

- 中堅看護師研修（2日間）

ディスカッション

看護師の「特定行為研修」

平成 27 年 10 月、今後の在宅医療等を支えていく看護師を計画的に養成していくことを目的に、特定行為に係る看護師の研修制度が施行され、その指定研修機関として厚生労働大臣が平成 29 年 3 月末時点で 40 機関（25 都道府県）を指定しています。
JCHO では、地域住民の多様なニーズに応え、安心して暮らすことができるよう地域医療を支え貢献するため、平成 29 年度より特定行為に係る看護師の研修を指定研修機関として実施し、各病院で看護師が働きながら学び続ける体制を整えています。
特に、地域医療の現場で、看護師が「治療」と「生活」の両面から患者の状態に合わせたより迅速な対応が行えることを重点的に強化するため、糖尿病看護、創傷ケア、透析看護、感染看護、在宅ケアの 5 つの領域（13 行為 10 区分）を設定し、研修を実施しています。

JCHO における特定行為研修を修了した看護師

13行為10区分の特定行為について医師の手順書に基づいて実施することができる。

特定行為
38 行為 21 区分

クリティカルな領域の特定行為区分※

呼吸器関連、循環器関連、各種ドレーン管理関連、動脈血液ガス分析関連、術後疼痛管理関連、循環動態に係る薬剤投与関連、精神及び神経症状に係る薬剤投与関連等

※大学院 NP コース等でも受講可能。JCHO における実施は、ニーズに応じて今後検討します。

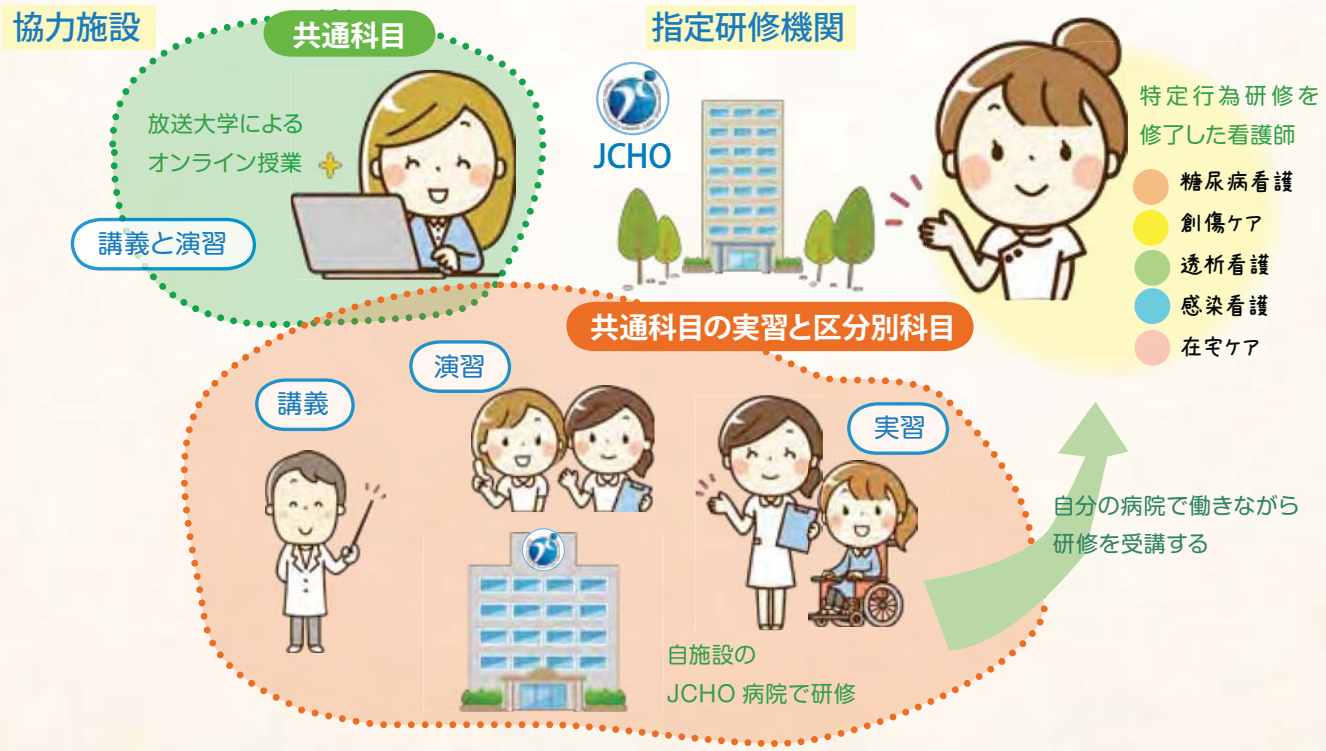
JCHO が設定した領域

- 糖尿病看護
- 創傷ケア
- 透析看護
- 感染看護
- 在宅ケア

JCHO が実施する特定行為区分

- 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
- ろう孔管理関連
- 創傷管理関連
- 創部ドレーン管理関連
- 透析管理関連
- 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
- 感染に係る薬剤投与関連
- 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- 皮膚損傷に係る薬剤投与関連

JCHO 特定行為研修受講のイメージ



スペシャリストの育成と活躍

JCHO の病院等では、19 名の専門看護師と 397 名の認定看護師が活躍しています。

※研修の受講期間を勤務として取り扱う制度があります。

専門看護師数（平成 29 年 4 月 1 日現在）

分野名	人数
がん看護	10
慢性疾患看護	3
老人看護	2
精神看護	1
母性看護	1
急性・重症患者看護	1
家族支援	1
合計	19

認定看護師数（平成 29 年 4 月 1 日現在）

分野名	人数
感染管理	66
皮膚・排泄ケア	63
糖尿病看護	43
がん性疼痛看護	34
認知症看護	34
がん化学療法看護	28
緩和ケア	26
集中ケア	17
救急看護	13
脳卒中リハビリテーション看護	12
摂食・嚥下障害看護	12
手術看護	11
透析看護	8
新生児集中ケア	7
慢性呼吸器疾患看護	5
訪問看護	4
乳がん看護	4
不妊症看護	3
がん放射線療法看護	3
小児救急看護	2
慢性心不全看護	2
合計	397

がん看護専門看護師

東京新宿メディカルセンター　外科病棟
髙山　裕子

新人時代にがん患者様が苦悩のなかでも力強く生きていることに感銘を受け、がん看護専門看護師を志しました。大学院進学中、病院実習と研究期間はＪＣＨＯの研究休職制度を活用し、勤務時間を調整していただいたお蔭で仕事と学業の両立をすることができました。がんという病いによってさまざまな苦悩を体験している患者様が、自分のもっている力に気づいて一歩を踏み出せるように看護理論に基づいた実践と質の高い看護を提供できることを目指していきたいと思っています。

糖尿病看護認定看護師

四日市羽津医療センター　患者支援センター
平岡 めぐみ

糖尿病は生涯にわたりコントロールが必要とされる病気です。生活の中で自分に合った療養行動を見つけ続けることは容易ではありません。看護外来では、患者さんや家族の苦楽を共に歩み、一緒に良き方法を模索する関わりを大切にしています。糖尿病と共に生きる人生がその人らしい豊かなものになるようにと願いを込めて。

認知症看護認定看護師

埼玉メディカルセンター　地域医療連携室
福光 由希子

私が認定看護師を目指したのは、「認知症になってもその人らしく住み慣れた場所で生活できるように支援したい」と思ったことがきっかけです。現在は認知症ケアチームの一員として様々な職種と連携しながら院内外で活動しています。アセスメントをしてチームで介入した結果が認知症の方やご家族にとって良い方向に向かうと、この上ない喜びを感じます。看護部長や病棟師長の理解や協力もあり、毎日楽しく認知症看護を実践しています。

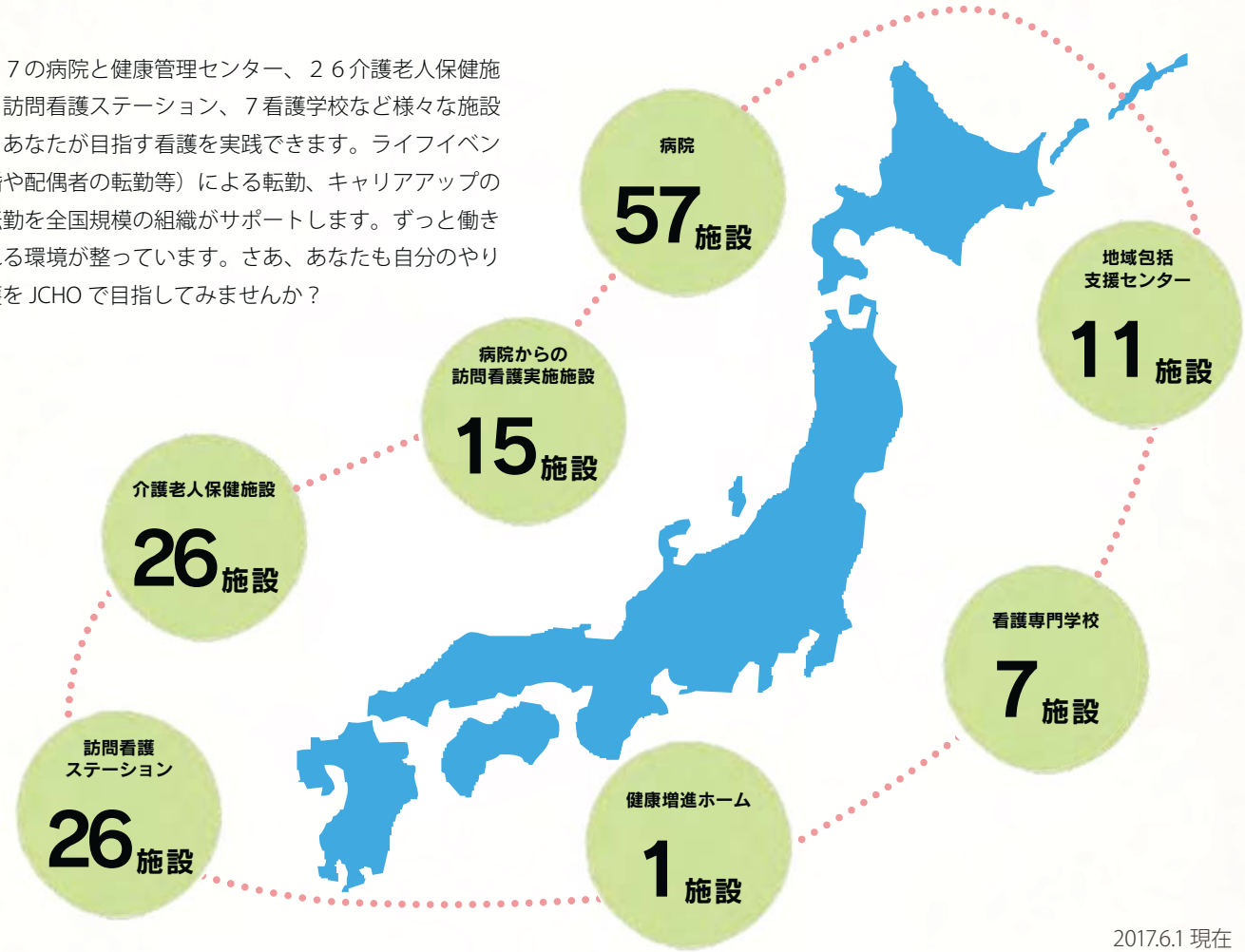
新生児集中ケア認定看護師

北海道病院　NICU（新生児特定集中治療室）
佐藤 摩奈美

認定看護師を目指したのは、親にとって大切な赤ちゃんに対して、もっと個別性のある看護を学びたいと思ったからです。認定看護師として６年目になりますが、赤ちゃんと家族から多くのことを学んでいます。もう一人の認定看護師とともにスタッフが新生児看護の魅力を感じられるように「赤ちゃんとその家族のために」看護実践をしています。

JCHO だから
長く、安心して働ける！

全国に５７の病院と健康管理センター、２６介護老人保健施設、２６訪問看護ステーション、７看護学校など様々な施設があり、あなたが目指す看護を実践できます。ライフイベント（結婚や配偶者の転勤等）による転勤、キャリアアップのための転勤を全国規模の組織がサポートします。ずっと働き続けられる環境が整っています。さあ、あなたも自分のやりたい看護を JCHO で目指してみませんか？



2017.6.1 現在

VOICE

仕事のやりがいや
職場の魅力。
各地から届いています！

福岡県
九州病院 集中治療室

新生児から高齢者までを対象として、危機状況にある患者さんやご家族と密に関わった看護の実践が、私たちのやりがいにつながっています。

大阪府
星ヶ丘医療センター 回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟では、看護師と他職種が協働し、365 日リハビリを行い、在宅復帰をめざしています。

あなたの価値観やライフスタイルに合わせたサポート

キャリアを継続できる異動

ご自身のキャリアを継続できるので、役割や働き方、働く場所を選択しながら活躍できます。また、新たな出会いや交流は自己の成長にもつながります。異動はマイナスではなく、ステップアップのチャンスと捉え、充実した人生を送りましょう。

安心の復職支援

これまでの経験に応じた研修や心配事に関する相談に応じ、仕事に復帰したいと考えている看護職などのキャリア形成を応援します。「しばらく職場を離れていたので不安…」という方も安心して働きはじめることができます。

石川県

金沢病院
地域包括支援センターもろえ

当センターは、保健師、看護師、社会福祉士がそれぞれの専門性を活かし、地域で生活する高齢者が自分らしい生活を続けられるよう支援しています。

宮崎県

宮崎江南病院附属
介護老人保健施設

利用者様の「お家に帰りたい！」を全力で支援しながら、在宅復帰に向け取り組んでいます。明るくとても雰囲気の良い、やりがいのある職場です。

福島県

二本松病院附属
訪問看護ステーション

住み慣れたご自宅で安心して生活できるよう、２４時間体制でお手伝いするのが訪問看護です。利用者様の笑顔・想いを身近に感じられる、やりがいの持てる職場です。

ワーク・ライフ・バランス支援の取り組み

仕事とプライベートを両立し、キャリアを継続できる環境を目指して、多彩な支援体制の整備、多様な勤務形態の普及に取り組んできました。 あなたの求めるライフスタイルが JCHO で実現できるよう、最大限にサポートいたします。

仕事も子育ても自分らしく！

りつりん病院
回復期リハビリテーション病棟
髙岡　里沙

私は３人の子供をもつ母親です。現在、夜勤免除や育児短時間勤務を活用しながら回復期リハビリ病棟で働いています。仕事の時間も子供たちと過ごす時間もどちらも私にとっては大切な時間です。ワークライフバランスを考えて、色々な制度を活用することで両立ができるため、それがとても大きな支援となっています。

丁寧なサポートで異動も安心

久留米総合病院
内科病棟
南條　美佳

結婚を機に下関医療センターから久留米総合病院へ転勤となり、慣れない環境での仕事は不安な気持ちで一杯でした。しかし、業務に慣れるよう配慮されており、中途者研修も充実していました。何よりも病棟スタッフの皆様の温かさに毎日支えられています。

出産・育児への支援

子育てをする職員に対して、育児休業や短時間勤務などの様々な支援制度を設けています。
多くの職員がこうした制度を活用し、イキイキと充実した毎日を送っています。

1．母性保護により妊産婦である女性職員の時間外勤務の就業制限等があります。
2．産前産後休暇があります。（出産予定日から６週間、出産日から８週間の特別休暇）
3．男性職員の休暇が請求できます。（入院から出産日後２週間までの間の２日の特別休暇等）
4．育児休業が請求できます。（３歳未満の子を養育するための休業）
5．保育時間が請求できます。（１歳未満の子の保育（授乳や保育園への送迎等）するための特別休暇（１日２回、それぞれ３０分））
6．子の看護休暇が請求できます。（小学校入学前の子の看護をするための特別休暇（１暦年で５日（未就学児が２人以上なら１０日））
7．育児短時間勤務が請求できます。（３歳未満の子を養育するための週１９時間２５分から２４時間３５分の短時間勤務）
8．育児時間が請求できます。（３歳未満の子を養育するための勤務時間の短縮（１日２時間以内）
9．早出遅出勤務が請求できます。（子どもを養育する場合に、１日の勤務時間はそのままで、あらかじめ定められた始業・終業時刻を変更）
10．時間外勤務の免除が請求できます。（３歳未満の子を養育するための時間外勤務の免除）
11．深夜・時間外勤務の制限が請求できます。（小学校に入学するまでの子を養育するための）①深夜勤務（２２時から翌日５時）②時間外勤務の制限（1 月 24 時間・1 年 150 時間以内の制限）

待遇

JCHO には出産や育児、介護に関するサポート制度があります。
女性に魅力ある職場を目指して、ライフイベントに合わせた働き方ができるように支援しています。

モデル給与

	助産師	看護師		
		大卒	短大3卒	短大２卒
基本給	208,000	205,200	195,900	187,600
主要手当	98,000	97,000	96,000	94,000
賞与（年２回）	669,000	660,000	630,000	603,000
年収	4,341,000	4,286,400	4,132,800	3,982,200

※主要手当：地域手当、通勤手当、住居手当、夜勤看護等手当、扶養手当等
※勤務する地域、病院により多少異なります。
※経常収支が特に良好な場合、年度末賞与が支給されます。

休暇・勤務

◆休暇等

年次休暇（年 20 日、繰越日数最高 20 日、 4月採用者は 15 日）、病気休暇、特別休暇（夏季、結婚、産前・産後、子の看護、妻の出産、介護、忌引き等）その他（育児休業、育児短時間勤務、介護休業、自己啓発休業等）

◆休日

4 週 8 休、国民の休日、年末年始（12 月 29 日～ 1 月 3 日）

◆勤務体制

三交替制勤務、二交替制勤務（病院・病棟によって異なる）

福利厚生

◆社会保険

健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労働保険

◆退職金制度　あり

◆宿舎

施設によっては看護職員宿舎等を設けています。

◆保育

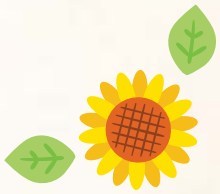
施設によっては院内保育所を完備しています。また夜間保育や病児保育もあります。

◆その他支援

常勤職員として採用後、本人のキャリアアップ、人材育成及びライフイベント（結婚・配偶者の転勤等）に配慮し、JCHO 内の病院へ異動の希望を支援します。

介護支援

ご家族が介護を必要とした場合、JCHO では「1. 介護休業」「2. 介護休暇」「3. 介護時間」「4. 時間外勤務の免除」「5. 早出遅出勤務・深夜・時間外勤務の制限」の請求ができます。職員が不安を抱える事なく仕事と両立できるよう、取り組んでいます。



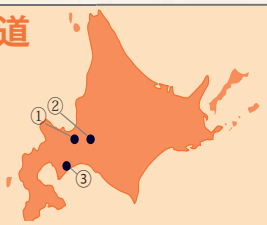
奨学金貸与制度

JCHO では、将来の JCHO 病院を担う看護師及び助産師の育成のため、奨学金制度を設けています。看護師及び助産師を目指し看護師等養成所や看護大学等に入学し、卒業後ＪＣＨＯ病院へ就職を希望する看護学生を対象に、奨学金を貸与することで修学を支援しています。

（1）貸与期間：入学年度の 4 月から卒業までの期間
（2）貸与金額：月額 30,000 円～ 50,000 円（病院によって金額が異なります。）
（3）返済免除：免許取得後、貸与された病院において一定期間勤務をしたとき
※詳細は各病院の奨学金貸与要領により異なりますので、各病院の担当者へお問い合わせください。

安心の地域医療を支える JCHO GROUP

北海道地区



①北海道病院
〒062-8618
北海道札幌市豊平区中の島1条8-3-18
TEL：（011）831-5151

老 在 居

②札幌北辰病院
〒004-8618
北海道札幌市厚別区厚別中央2条6-2-1
TEL：（011）893-3000

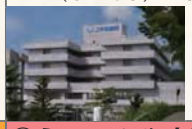
③登別病院
〒059-0598
北海道登別市登別温泉町133
TEL：（0143）84-2165

訪 地 居

⑥秋田病院
〒016-0851
秋田県能代市緑町5-22
TEL：（0185）52-3271

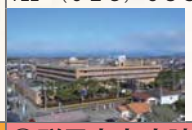
老 訪 居

⑦二本松病院
〒964-8501
福島県二本松市成田町1-553
TEL：（0243）23-1231



老 訪 地 居

⑧うつのみや病院
〒321-0143
栃木県宇都宮市南高砂町11-17
TEL：（028）653-1001

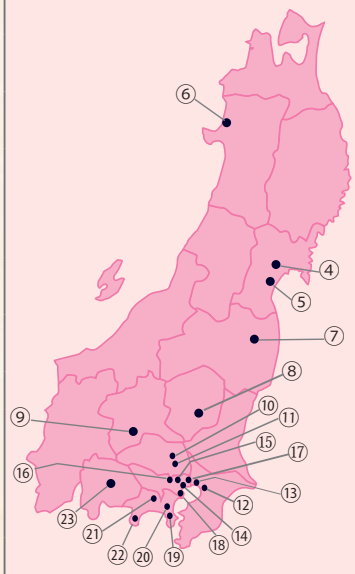


老 地 居

⑨群馬中央病院
〒371-0025
群馬県前橋市紅雲町1-7-13
TEL：（027）221-8165

老 地 居

東日本地区



⑩さいたま北部医療センター
〒331-8625
埼玉県さいたま市北区盆栽町453
TEL：（048）663-1671

訪 居

⑪埼玉メディカルセンター
〒330-0074
埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-9-3
TEL：（048）832-4951

老 地 居

⑫千葉病院
〒260-8710
千葉県千葉市中央区仁戸名町682
TEL：（043）261-2211

老 居

④仙台病院
〒981-8501
宮城県仙台市青葉区堤町3-16-1
TEL：（022）275-3111

⑤仙台南病院
〒981-1103
宮城県仙台市太白区中田町字前沖143
TEL：（022）306-1711

老 居

⑬船橋中央病院
〒273-8556
千葉県船橋市海神6-13-10
TEL：（047）433-2111

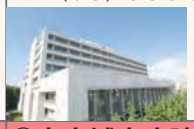
学

⑭東京高輪病院
〒108-8606
東京都港区高輪3-10-11
TEL：（03）3443-9191

⑮東京新宿メディカルセンター
〒162-8543
東京都新宿区津久戸町5-1
TEL：（03）3269-8111

学 訪

⑯東京山手メディカルセンター
〒169-0073
東京都新宿区百人町3-22-1
TEL：（03）3364-0251



学

⑰東京城東病院
〒136-0071
東京都江東区亀戸9-13-1
TEL：（03）3685-1431

老 地 居

⑱東京蒲田医療センター
〒144-0035
東京都大田区南蒲田2-19-2
TEL：（03）3738-8221

⑲横浜中央病院
〒231-8553
神奈川県横浜市中区山下町268
TEL：（045）641-1921

学 訪

⑳横浜保土ケ谷中央病院
〒240-8585
神奈川県横浜市保土ケ谷区釜台町43-1
TEL：（045）331-1251

訪 居

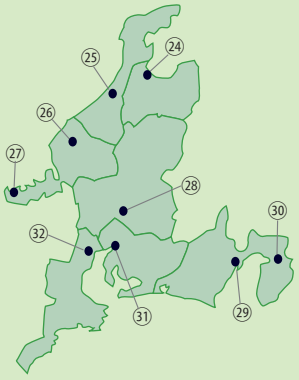
㉑相模野病院
〒252-0206
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-2-30
TEL：（042）752-2025

訪

㉒湯河原病院
〒259-0396
神奈川県足柄下郡湯河原町宮上438
TEL：（0465）63-2211

㉓山梨病院
〒400-0025
山梨県甲府市朝日3-11-16
TEL：（055）252-8831

東海北陸地区



㉔高岡ふしき病院
〒933-0115
富山県高岡市伏木古府元町8-5
TEL：（0766）44-1181

訪

㉕金沢病院
〒920-8610
石川県金沢市沖町ハ-15
TEL：（076）252-2200

老 訪 地 居

㉖福井勝山総合病院
〒911-8558
福井県勝山市長山町2-6-21
TEL：（0779）88-0350

老 訪 居

㉗若狭高浜病院
〒919-2293
福井県大飯郡高浜町宮崎87-14-2
TEL：（0770）72-0880

老 訪 居

㉘可児とうのう病院
〒509-0206
岐阜県可児市土田1221-5
TEL：（0574）25-3113

老 訪 地 居

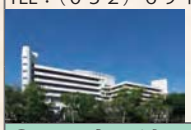
㉙桜ヶ丘病院
〒424-8601
静岡県静岡市清水区桜が丘町13-23
TEL：（054）353-5311

㉚三島総合病院
〒411-0801
静岡県三島市谷田字藤久保2276
TEL：（055）975-3031

老 地 居

老 介護老人保健施設　学 看護専門学校　健 健康増進ホーム　訪 訪問看護ステーション　地 地域包括支援センター　在 在宅介護支援センター　居 居宅介護支援センター

㉛中京病院
〒457-8510
愛知県名古屋市南区三条1-1-10
TEL：（052）691-7151

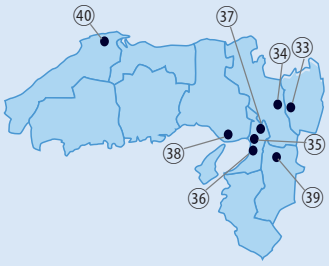


老 学

㉜四日市羽津医療センター
〒510-0016
三重県四日市市羽津山町10-8
TEL：（059）331-2000

老 訪 在 居

近畿地区



㉝滋賀病院
〒520-0846
滋賀県大津市富士見台16-1
TEL：（077）537-3101

老 訪 居

㉞京都鞍馬口医療センター
〒603-8151
京都府京都市北区小山下総町27
TEL：（075）441－6101

訪

㉟大阪病院
〒553-0003
大阪府大阪市福島区福島4-2-78
TEL：（06）6441-5451

学

㊱大阪みなと中央病院
〒552-0021
大阪府大阪市港区築港1-8-30
TEL：（06）6572-5721

㊲星ヶ丘医療センター
〒573-8511
大阪府枚方市星丘4-8-1
TEL：（072）840-2641

訪

㊳神戸中央病院
〒651-1145
兵庫県神戸市北区惣山町2-1-1
TEL：（078）594-2211

老 学 訪 地 居

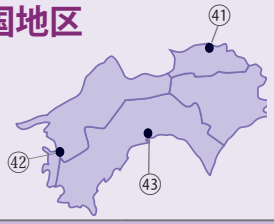
㊴大和郡山病院
〒639-1013
奈良県大和郡山市朝日町1-62
TEL：（0743）53-1111

訪

㊵玉造病院
〒699-0293
島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL：（0852）62-1560

健

四国地区



㊶りつりん病院
〒760-0073
香川県高松市栗林町3-5-9
TEL：（087）862-3171

訪

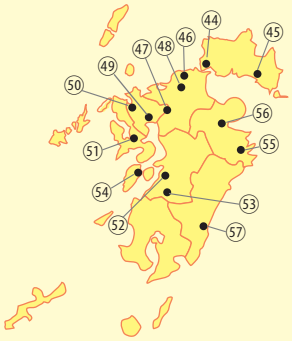
㊷宇和島病院
〒798-0053
愛媛県宇和島市賀古町2-1-37
TEL：（0895）22-5616

老 訪 居

㊸高知西病院
〒780-8040
高知県高知市神田317-12
TEL：（088）843-1501

居

九州地区



㊹下関医療センター
〒750-0061
山口県下関市上新地町3-3-8
TEL：（083）231-5811

老 訪 居

㊺徳山中央病院
〒745-8522
山口県周南市孝田町1-1
TEL：（0834）28-4411

老 訪

㊻九州病院
〒806-8501
福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1
TEL：（093）641-5111

㊼久留米総合病院
〒830-0013
福岡県久留米市櫛原町21
TEL：（0942）33-1211

老 居

㊽福岡ゆたか中央病院
〒822-0001
福岡県直方市大字感田523-5
TEL：（0949）26-2311

㊾佐賀中部病院
〒849-8522
佐賀県佐賀市兵庫南3-8-1
TEL：（0952）28-5311

老 地 居

㊿伊万里松浦病院
〒849-4261
佐賀県伊万里市山代町立岩417
TEL：（0955）28-3100

訪

(51)諫早総合病院
〒854-8501
長崎県諫早市永昌東町24-1
TEL：（0957）22-1380

(52)熊本総合病院
〒866-8660
熊本県八代市通町10-10
TEL：（0965）32-7111

(53)人吉医療センター
〒868-8555
熊本県人吉市老神町35
TEL：（0966）22-2191

(54)天草中央総合病院
〒863-0033
熊本県天草市東町101
TEL：（0969）22-0011

老 居

(55)南海医療センター
〒876-0857
大分県佐伯市常盤西町11-20
TEL：（0972）22-0547

老 居

(56)湯布院病院
〒879-5193
大分県由布市湯布院町川南252
TEL：（0977）84-3171

訪 居

(57)宮崎江南病院
〒880-8585
宮崎県宮崎市大坪西1-2-1
TEL：（0985）51-7575

老 訪 居

各病院にお気軽にお問い合わせください
もしくは各病院のHP上の「採用情報」をご覧ください

JCHO

Japan Community Health care Organization［ジェイコー］

独立行政法人地域医療機能推進機構　本部

TEL:03-5791-8220

〒108-0074　東京都港区高輪 3-22-12

http://www.jcho.go.jp/

◆地区事務所

北海道四国地区管理部　TEL:03-3445-0810
〒108-0074　東京都港区高輪 3-22-12

東日本地区事務所　TEL:03-3445-0800
〒108-0074　東京都港区高輪 3-22-12

東海北陸地区事務所　TEL:052-698-2283
〒457-0866　愛知県名古屋市南区三条 1-1-10 中京病院健康管理センター内

近畿地区事務所　TEL:06-6448-8680
〒553-0003　大阪府大阪市福島区福島 4-2-78　大阪病院別館 3 階

九州地区事務所　TEL:093-641-9744
〒806-8501　福岡県北九州市八幡西区岸の浦 1-8-1　九州病院内

◆研修センター　TEL:047-495-7700
〒273-0027　千葉県船橋市海神町西 1-1042-2

Ver.1